

# 令和元年度 江東小学校 学校評価結果と分析

3点満点 (7割:2.1 7.5割:2.25 8割:2.4 8.5割:2.55 9割:2.7 9.5割:2.85)

	番号	内容項目	教職員			児童アンケート			保護者アンケート			学校関係者評価	成果	改善の方向	
			昨年末結果	目標値	自己評価	昨年末結果	目標値	自己評価	昨年末結果	目標値	自己評価				
Ⅰ: 安心してすくすくし、健康・体力の増進に取り組む	1	心のアンケート①確実な処理、日常観察のスキルアップ→トラブルの早期発見・②対応=いじめや不登校の未然防止・解消、楽しく学校	①2.30 ②2.36	2.75	2.61 2.77	2.30	2.50	2.47 2.23	2.17	2.25	2.19	1.83	2.00	2.12 2.43	設問の見直しやアンケート後の流れを確認し、迅速な対応へとつなげ、いじめや不登校の未然防止につなげたい。一人一人に聞き取りをして、その場で対応できるようにしているため、時間を要した職員には聞き取りや指導のスキルを磨く必要がある。
	2	「すくすくタイム」に工夫改善を加え①モチベーションを上げる。②技能ポイントを学年で確認して授業→体力と技能が高まる。	①1.92 ②1.89	2.77	2.05 2.58	2.50	2.47 2.23	2.17	2.25	2.19	2.19	2.17	2.25	2.19	意義の説明や児童への声かけにより、意味があると感じながら「すくすく運動」を行っている結果だと考える。今年度は雨天もビデオ放送を通じて行った。また、大綱の各学級の回数を掲示することや学校便りで紹介することで児童の頑張りが伝わるようにした。
	3	委員会や係活動と教師の指導→①窓開け・②うがい・手洗いの徹底→感染症罹患を防止	①2.14 ②2.14	2.50	2.69 2.42	2.15	2.50	2.39	2.15	2.50	2.39	2.15	2.50	2.39	黒板左の整頓やユニバーサルデザイン、空き教室にも気を配れると良い。廊下は綺麗だった。職員トイレスリッパを洗ってほしい。
Ⅱ: 分け隔てなく、力を出し合いながら学習や活動に取り組む	4	①ハンドサイン→聞く力を伸ばす。②「じっくりあたま」による話し方を指導し言語活動を仕組む。③質問・賛成・反対の意見を促す。	①1.92 ②1.77 ③1.71	2.25	2.60 2.32 1.88	2.30	2.46 1.70 2.08	2.11	2.25	2.09	2.09	2.11	2.25	2.09	声の小ささが気になる児童がいたので、自信をつけるために、笑顔で拍手をする学校づくりを推進してほしい。聞く姿勢はよく、発表者を支えていた。
	5	①「復讐練習」「復習」「自己決定した課題」の指導を進め、②家庭学習の習慣の向上を図る。	1.74	2.00	①2.55 ②1.75	2.66	2.75	2.63	2.11	2.25	2.09	2.11	2.25	2.09	朝のドリル学習の日やスキルアップ(月2回)を設けた。スキルアップでは、算数の点数が低い児童は昼休みに補充学習を行っている。なかよしスタディタイムではやりきる力をつけている。また、学年集会において自主学習の意義や方法を伝えてから学習開始とした。
	6	図書館を活用した授業を行い、調べ学習の力を伸ばすと共に、読書の楽しさを味わわせ、読書の習慣が身に付くようにする。	1.65	1.65	1.86	2.00	2.69	1.50	1.76	1.50	1.76	1.50	1.76	1.76	授業と関連する蔵書を学年ごとにまとめた表を4月の職員会で提案した。推薦図書(各学年6冊)、図書祭年2回を行い、図書館の本に親しむ機会をもった。司書の先生にアドバイスをいただき、市の本も集めてもらい授業に活用できた。
ⅠとⅡ	7	①「さんづけ」②「応援の声・拍手」日常的に促し見届け→児童間の関係性をプラスの方向で伸ばす。	2.00	2.00	2.75 2.75	2.23	2.50 2.00	2.55 2.53	2.23	2.50	2.55 2.53	2.23	2.50 2.00	2.55 2.53	「さんづけ」はできている。ひびきあい集会の持ち方を改めた結果、児童が日頃の自分の言動や意識をふり返る場となった。運動会でも自然に拍手が出るなど応援する姿は習慣となっている。
	8	特別支援学級と通常学級の交流を意図的に仕組む→互いを理解・助け合う心情を養う。	2.00	2.00	2.15	2.00	1.96	2.00	1.96	2.00	1.96	2.00	1.96	2.00	交流学級での座席や名簿、学年での活動等の配慮をしてから交流を行うようにした。
	9	教科道徳の研究実践に取り組み、価値理解と振り返りの場面を中心に授業改善。	1.73	2.25	2.29	2.47	2.75	2.69	2.47	2.75	2.69	2.47	2.75	2.69	保護者のスマホおでも廊下からの撮影はよくなかった。
Ⅲ: 「児童friendly」で地域・保護者とつながり、信頼される学校	10	児童の良さを具体的にとらえて教師間でも情報交換、懇談等で保護者に伝える。→児童の自己肯定感を高める。	1.96	2.50	2.44	2.46	2.24	2.50	2.28	2.24	2.50	2.28	2.28	2.28	発達段階をふまえて懇談の資料が学年ごとにつくられていてよかった。情報交換を今後も進めてほしい。
	11	見通しのある学年経営、建設的なコミュニケーション、会議のシェイプアップ→勤務時間の適正化。	2.09	2.25	2.14	2.09	2.25	2.14	2.09	2.25	2.14	2.09	2.25	2.14	働き方改革を進めてほしい。早くから職員室の電気がついていたりあったので、心配だ。自身の家族のためにも早く帰ってほしい。
	12	登校班のリーダー指導、見回りの実施・地域への依頼→安全な通学。	1.88	2.46	2.25	2.61	2.28	2.50	2.22	2.28	2.50	2.22	2.28	2.22	今後も継続してリーダー指導を行い、安全な登下校を推進してほしい。学校の外のことは地域でみていきたい。